

# 議事録要旨

会議名	第5回芦原温泉駅まちづくりデザイン部会
開催日時	平成28年10月11日(火) 19:30~21:30
開催場所	あわらし役所3階 正庁
出席者 (敬称略)	<p>【部会員(9名)】  福井工業大学/川島洋一(教授)、市民/笹原修之、西田幸男(途中参加)、  八木康史(途中参加)、あわらし/長谷川義則、中辻雅浩、細川正樹、坂井真生、  竹内優美(途中参加)、福井大学/酒野さん</p> <p>【オブザーバー(4名)】  日経BP社/高津、大広/菱田、新島、大広北陸/渡辺</p> <p>【事務局(3名)】  あわらし総務部政策課/小嶋(課長)、山口(課長補佐)赤神(主査)</p>
欠席者 (敬称略)	市民/森嗣一郎、高木めぐみ、あわらし/山本紹央
協議事項	デザイナー3組より一枚のデザイン提示
会議内容 の要旨	<p>(進行)事務局  笹原部会長の挨拶</p> <p>前回見たかった絵と、進捗が違っていたので再度部会を開催させていただきました。市民の方の参加が少ないのは寂しいですがよろしくお願ひします。改定委員会ワーキング部会では基本整備計画を見直して、駅舎コンセプト、(駅前の)制限のかかる建物を通して、どこが軸なのか分からなかった。ぶれてはいけない場所を示して、こんな駅前だといいなを創っていきたくて考えています。</p> <p>事務局：  前回の部会終了後、部会とデザイナー側とで相違があったので、笹原部会長・川島先生・事務局・オブザーバーで話し合いを行ないました。下記の通りまとめています。</p> <p>芦原温泉駅周辺まちづくりデザインの進め方について</p> <p>市民投票</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の投票で優れた作品数点を選定する。</li> <li>・審査方法は、審査委員(戦略会議委員等)と一般参加者で点数に差をつけて行う。</li> </ul> <p>鳥瞰図・イメージ図(エリア図内でデザイン)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西口(駅舎を背にして) 1枚</li> <li>・駅前通り 1枚</li> <li>・竹田川 1枚</li> </ul>

# 議事録要旨

・フリー 3枚

市民にイメージを分かりやすく伝えるために一部ゾーンを指定して、統一したアングルでデザインを描く。ゾーンごとの写真を渡す。

西口については、次の条件を付与する。

ロータリーを確保すること（エリア図に示す2つのロータリーにはこだわらず、規模・配置も含めて提案。）

整備予定の105号線は通過機能を持たせつつ、駅前空間に一体感を出す提案とすること

8/29ワークショップやあわらの未来づくりアンケート（Q3）における、市民の声を反映したデザインとする。

## 優秀作品

・市民投票で作品が選定されたデザイナーは、当該ゾーン・スポットを整備する際のアドバイザーとして市と優先的に交渉する権利を有する。

（進行）日経BP社 / 高津氏

デザイナーからの絵をプロジェクターで見せながら説明

## 有限会社E.N.N.：小津氏の提案

駅前にあわらにしかない天蓋広場を創ります。

JR芦原温泉駅前に絵の様な天蓋を設置します。

目的は、日差しや雨・雪から訪問者いわゆる観光で訪れた人や地元の人々を守ります。

この天蓋の下では、様々なイベントやマーケット、カフェなど賑わいを包容する広場を用意。

また駅の東西に天蓋を設けてイメージを統一し人の往来を喚起させます。まさに駅がハブとなり芦原温泉街、竹田川など各地への出発拠点として機能を持たせます。駅前に面する

既存の建物は地上一階を中心に統一感のあるリノベーションを実施し、まちづくりを歩行者レベルで展開します。贅沢に駅前をつくることを考えています。雪対策については荷重がかからないよう熱線を配するなどの工夫を行ない積雪に対応するように考えている。また暴風などの接近が分かった段階で、テント膜など畳んでしまえる様に調整になると思います。

## GENETO：山中氏

働きながら休む健康の聖地「アクティブレスト」を具体化した建物を提案。一階部分はキッチンやマルシェができるスペース、二階部分には貸しオフィス、受付事務などワーキングス

# 議事録要旨

ース、三階部分には温泉入浴施設としたものです。温泉水を運んで駅前でも温泉を楽しめるように。三層構造なので、三階建の建物に収まるようまちの景観を壊さないように絵を描いています。この場所でないといけないという提案ではありません。絵の中には自転車に乗っている人が描かれていますが、今後そういった層を取り込むアイデアを出してはくはずです。

## 名古屋工業大学伊藤氏 + イチノイチアーキテクト石川氏

「あわらむすび」をキーとして、河川を有効活用した案です。河川敷にはストリートファニチャーのようなものが置かれ、ひっそりと楽しめるように。また駅前に設置予定の100畳座敷のミニ版が置かれています。この場所を利用してカルタ大会が行なわれるとか、案が出てくると思います。

## 部会員

3組の提案を見させていただいて、少しほっとしました。3組の特長が出た、良い提案だったと思います。

## 【小津案に対する質疑応答】

強度について、テント膜・有機ガラスについて風や雷、雪の対応などは

設計出来るものがやっていますので工夫を凝らしてくるはずですが、費用は大きくなると思いますが、いまはそれも抜きにして欲しいと思うものと考えていただければと思います。具体的には熱線を配して、またはワイヤーを入れ自動的に開閉できるなど。

## ロータリーの上に構造物は大丈夫か

高さが確保できれば大丈夫、新幹線駅の三層の高さに対応。東口でもシンボリックに採用できる。JR側にプレッシャーをかけることも。大阪駅は大屋根で10階から5階の傾斜がかかっている。全天候型のドームになる。安全なものの上に屋根という発想はあったけど、駅前に付くのがユニークである。

## メンテナンスなど大丈夫か

苦勞するポイントですが対応。銀入りのガラスで自浄作用がありメンテナンスも軽い。

## ロータリーに天蓋をかける意味は

一体感がある様に。ロータリールールの変更も検討できるか（明治通り封鎖の例）2ロータリーまたは1ロータリーが検討されているが、来訪者に優しいコンパクトロータリー。現にロータリーを賑わい広場でパブリックスペース化できる大屋根は良い。コンパクト仕様で全天候型が良い。昭和レトロ部分は一階の改装をかけ、気を遣っているのをアピール。このまち

# 議事録要旨

生きていると思わせることと、新しいものと古さが際立つのが良い。

【山中案に対しての質疑応答】

新築または改築で対応ですか

どちらでも可能です。駅前はより集約したスペースで商店街通りでは約 60 坪ほどの規模を考えています。お湯はタンクで運ぶ非効率・非収益事業。地域の協力なしでは出来ない、取れたて、降りたてのお客さんを楽しませるという施策。

シェアをする最先端の働き方。「渋谷ヒカリエ」 クリエイティブラウンジがあり、フリーデザイナーやフリーライターが使っている。

出来るだけ固定費がかからないよう、まち全体をオフィス空間へ。

管理者は

経営する事業体が必要。コワーキングスペースは地元のひとは商売のタネにして欲しい。カフェやマルシェ等経営して外の人たちから稼ぐ装置にして欲しい。

部会員：

温泉ではなく WIFI 関係ということで、高校・中学スポットに。ビジネススペースは湯のまちにあった方が良いのではないかと。お風呂は切り離したらいいかと思う。温泉宿を経営されている人の新しいタネになれば、コワーキングスペースにも温泉があるというのがユニークで評判になる。名実ともにあった方が失望もない。ビジネスが発生しないと新幹線駅になると勝手に人が来ますよ。玄関口になっているのに地元の人だけでいいんですか。

部会員：

駅前にあった方が良いのではないかと。

駅前は大きな施設、駅前以外はこの約 60 坪くらいの規模で。

部会員：

コワーキングスペースのポータルサイトはあるのでしょうか。使ってくれる保証がない。使う人にリーチ出来るか？

プロモーション次第のところがあります。

部会員：

a キューブは？装置で駅前開設、wifi フリーなので平面展開可能なのでは。

部会員：

背景は滞在型リゾートのアクティブレストの考え方がベース。休息に来るんだけど、仕

# 議事録要旨

事が出来るスペースがある。

【伊藤案に対するの質疑応答】

事務局：

あの三角は / 移動可能なテント（河川法もあるので）

社会インフラ（公設民営）事業主体どうしますか、懸念

持続可能を追求しなくては、ミズベリングをやるかやらないか。創業支援として川でも何か出来るんだ、と市民に知らせる。興味ある人に対して、市が梯子を外さないで欲しい。行政財産が持続可能か、どちらをとるか。何らかの整備は行政が関与しなくては、手をあげる民間があればチャレンジショップか。

デザイナーは川を使うというポイントでの提案、市民にとって大切かどうかは 11/27 の市民投票の結果でわかるはず。

部会員：

デザイナーに予算が与えられ、近隣住民と対話がスタートしているわけではない。ワークショップをもとに描いてもらっています。コレを見た市民の機運を高めるのが目的です。6 枚の絵が出てくるのが楽しみです。

【今後の進め方】

6 枚の絵×3 組 = 18 枚でデザインまたはアイデアを選ぶ方式

11/27 の審査方法ですが、評価項目を明示するか？絵に対する人気投票にするか？

投票は会場のみで、絵の好き嫌いで出来るだけ人気投票にならないように。

審査委員による何らかの重み付けは次回の部会にて提示へ。

部会員：

3 組からの案をみさせていただいて、今後が楽しみです。地元の人ならではの話も良く分かりました。未来を描く、変わると信じて大事なものを継承して行ければ。今後ともよろしく。

以上

【次回日程について】

10 月 31 日（月）に部会開催。

デザイナーからまちの絵を仕上げてもらい、テイストを確認する内容になる予定。